

次の文章を読み、各問いに答えよ。

「聞いて聞いて、あのAさんが実はね……」など、私たちは人のうわさ話や評判を話題にすることが大好きな動物のようです。霊長類学者のダンバーは、大学のカフェテリアや病院の待合室など人が集まる場所での自然な会話を分析し、会話のほとんどが「今ここにいない誰か」についてのゴシップであることを示しました。直接の知り合いでもない芸能人や重要人物の私生活に対して、「ふつうの人々」が熱心な興味を示すことは、ワイドショーや週刊誌の記事を見ても明らかです（狩猟採集民の社会でもゴシップはとても熱心に行われます）。

ダンバーによれば、ゴシップはサル①の群れにおける毛づくろいと同じ役割を果たすと言います。サルの毛づくろいは、友好的な関係を保ったり、壊れかかった社会関係をシユウ復したりするのに役立つことが分かっています。ヒトの場合には、毛づくろいの代わりに言葉を使って「今ここにいない誰か」についてのうわさ話をする②ことが、互いのきずなや連帯感を強めるという主張です。

しかし、ゴシップの働きはそれだけではありません。ゴシップの一つ一つの情報は面白おかしい加減なものであっても、それが積み重なると、ある人の「人間性」を露わにするケースがしばしば生まれ、それがその人の「評判」となります。「評判の良い人」とされるか「評判の悪い人」とされるのかは、その人の利他性による③ところが大きいでしょう。なかでも、相手からの直接の見返りが期待できないような場面において、相手に親切にするか、あるいは□□のように冷淡になるかは、その人のもっている「本当の利他性」の程度をよく表すシ標④と言えるでしょう。とくに当の本人が計算せずに表出した行動、たとえば、誰も見ていないと思つてやった行動は、情報価が高いと言えます。

私たちは、ゴシップを通じていろいろな他者の本当の利他性についての情報を得ることで、直接知らない相手であっても、評判の良い人とは

付き合いたいと思う一方で、評判の悪い人はなるべく避けようとしています。ゴシップなどの評判メカニズムは、どの相手とどう付き合うべきかをめぐる「対人マーケット」において、重要な選別の機能を果たしているのです。付き合う相手として他の人から選ばれることが、集団での生活を進化的に選択したヒトにとって根本的な適応の要件となるのは、言うまでもありません。このような評判のメカニズムは、ツイッターやラインなどの情報サービスが普キユウした今日の社会で、とくに大きな影響を發揮します。

(注) ダンバーは英国の霊長類学者（一九四七年～）。ゴシップは「うわさ話」。

利他性は自分のことよりもまず他人の利益や幸福を考える傾向があること。マーケットは商品の売買や交換が行われる市場。

(一) 文中の①・②・③のカタカナを漢字に直したとき、同じ漢字を用いるものを、それぞれのア～エから一つ選び、その記号をマークせよ。

① シユウ復

ア 会費を徴シユウする。 イ 地域独自の慣シユウを守る。

ウ 社長にシユウ任する。 エ 予算案をシユウ正する。

② シ標

ア 世界屈シの美術館を訪ねる。 イ 当日の進行にシ障が出る。

ウ 新しい事業に出シする。 エ みごとにシ練を乗り越える。

③ 普キユウ

ア 燃料を補キユウする。 イ 反対運動が各地に波キユウする。

ウ 解散を要キユウする。 エ 事故の原因をキユウ明する。

(二) 文中の□□にあてはまる慣用表現として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号をマークせよ。

ア 手ぐすねを引いた イ 手塩にかけた

ウ 手に汗を握った エ 手のひらを返した

① (三) ゴシップはサルの群れにおける毛づくろいと同じ役割を果たす。ところが、これはどのようなことを表しているか。説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号をマークせよ。

ア たとえ直接の知り合いではなくても、話題に取り上げることによって仲間意識が芽生え、連帯感が強まるということ。

イ ゴシップを楽しむことを通じて、これまで知らなかった社会への関心が引き起こされ、人間関係が広がるということ。

ウ 一緒にゴシップを話すことで、その場にいる人たちの間に親密感が生まれ、仲間としての一体感が高まるということ。

エ その場にはいない人を話題にすることによって、仲間うちで対立や衝突が起こることを避けようとしているということ。

② (四) 対人マーケット とあるが、筆者が「マーケット」というたとえの表現を用いているのはなぜだと考えられるか。その理由として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号をマークせよ。

ア 情報社会においては、多くの人から付き合う相手として選ばれるにはどんな行動をとればよいかという計算が可能になり、あたかも商品を売るかのように自分を売り込むことができるから。

イ 集団生活をする人間が、商品を買う際にさまざまな情報にもとづいて選択するのと同じく、自分が付き合う相手を選ぶときも、うわさ話や評判などの情報をもとに選ぶとしているから。

ウ 人の評価が、本当の性質よりも他者からの見方で左右される状況が、商品の質よりもツイッターやライン上の情報が商品選択の大事な手になりつつある現在の社会に似ているから。

エ 情報サービスが広まるにつれ、自分では使わない商品についても知識が増えていくのと同様に、直接の知り合いではない人たちにも関心が向き、うわさ話や評判の対象にしているから。

二

春男さんは、「白髪に関する最新の研究」について、中学校の学習発表会でスピーチをすることになった。次の文章は、春男さんがスピーチのために書いた原稿だが、余分な内容が含まれている。省いた方がよいと思われる文を三つ選び、その記号をマークせよ。

ア 皆さんは、あまりの恐怖のためひと晩で髪の毛が白くなった、といった話を聞いたことがあると思います。

イ このように、強いストレスのために毛の色が白くなる現象は、マウスなどを使った実験でも知られています。

ウ もっとも、実験の中では、毛の色が白くならないマウスもいたそうです。

エ さらに、最近の研究によると、ストレスがなくなると、髪の毛の色は元に戻るということが分かっています。

オ 色が元に戻るなら、少し安心できそうですね。

カ コロンビア大学で行われた研究によると、被験者の髪の毛の色を測定し、過去一年間の経験を聞き取ると、ストレスのかかった時期に髪の毛の色が白くなったことが分かっています。

キ 被験者の一年間の経験は、本当にさまざまだったようです。

ク そして、ある被験者については、休暇をとったあと、髪の毛の色が元に戻る現象も観察されました。

ケ これはマウスでは観察されなかった現象で、調べてみると、人間の髪の毛の色を決める仕組みは、マウスとはまた違う仕組みであることも分かっていたそうです。

コ いずれは老化による白髪も元に戻るようになるのかもしれませんがね。